

令和7年度ロボット/ドローン開発・実装促進事業

ロボット実装促進センター



ロボット開発支援事業 事例集

ドローン開発／実証実験支援事業 事例集

2026.3

concept

令和7年度 ロボット開発支援事業

- 「ロボット実装促進センター」では、物流／医療／農林水産／インフラ／犯罪対策など県民生活に不可欠な分野で、生活支援ロボットを活用した社会課題の解決や市場ニーズを踏まえた新たなサービスの提供を推進しています。
- 令和7年度ロボット開発支援事業では、3年以内の実用化（令和10年3月31日まで）、そして、神奈川県内でのロボットの実装が見込める斬新なロボット開発プロジェクトを全国から募集・採択しました。
 - ・ 本事業が対象とする「ロボット」には、生活支援ロボット（サービスロボット）本体だけでなく、ロボットとIoT関連製品・サービスが一体となったソリューションを含みます。
 - ・ 本事業では工場の製造ラインで活用される産業用ロボットではなく、生活支援ロボット（サービスロボット）に関する開発プロジェクトを対象に募集を行いました。
- 採択企業によるロボット開発のうち、採択決定後から令和8年2月中旬までに行われ、令和8年2月20日までに支払いが完了した開発に係る経費に対し、1プロジェクトあたり税込最大1,500万円を支援しました。



- 募集件数 : 4プロジェクト程度
- 支援額 : 1プロジェクトあたり 税込最大 1,500万円 を支援

concept

令和7年度 ドローン開発支援事業/ドローン実証実験支援事業

- 「ロボット実装促進センター」では、ドローンを活用した社会課題の解決や市場ニーズを踏まえた新たなサービスの提供を推進しています。
- 令和7年度ドローン開発支援事業/ドローン実証実験支援事業では、3年以内の実用化（令和10年3月31日まで）、神奈川県内でのドローンの実装が見込める斬新なプロジェクトを全国から募集・採択しました。
（災害、農業、点検など、神奈川県内の地域課題を解決するプロジェクトを募集）
 - ・ ドローン開発プロジェクト：本事業期間内に、安全性や信頼性を十分確保した新たなドローンの試作機を開発し、3年以内の実用化（令和10年3月31日まで）及び神奈川県内での実装を見込めるもの
 - ・ ドローン実証実験プロジェクト：本事業期間内に、安全性や信頼性を十分確保した既に製品・サービスが具体化している新たなドローン及びドローンを活用したサービスについて実証実験を行い、3年以内の実用化（令和10年3月31日まで）及び神奈川県内での実装を見込めるもの
- 採択企業によるドローン開発あるいはドローン実証実験のうち、採択決定後から令和8年2月中旬までに行われ、令和8年2月20日までに支払いが完了した開発あるいは実証実験の実施に係る経費に対し、1プロジェクトあたり次の金額を上限に支援しました。



- ドローン開発プロジェクト : 1プロジェクトあたり 税込最大 1,200万円 を支援
- ドローン実証実験プロジェクト : 1プロジェクトあたり 税込最大 800万円 を支援

採択企業のご紹介

<令和7年度 生産性向上に資するロボット開発支援事業 採択プロジェクト>

代表事業者名 (五十音順)	プロジェクト名
アジア航測株式会社	下水道処理施設の日常点検を代替するロボット点検ソリューションの開発
株式会社クフウシャ	フィジカルAIを活用した双腕アームロボット「OmniHost (オムニホスト)」の開発

<令和7年度介護ロボット・介護 I C T 機器の開発支援事業 採択プロジェクト>

代表事業者名 (五十音順)	プロジェクト名
シャープ株式会社	AI介護機能訓練トレーナーの開発
株式会社バイオシルバー	心拍・呼吸・体動・睡眠状態といった生体情報から、疾病・重症化リスク・その他各種異常を予測するAIシステムの開発

<令和7年度 ドローン開発支援事業 採択プロジェクト>

代表事業者名 (五十音順)	プロジェクト名
株式会社Oceanic Constellations	船体および群制御システム等を搭載した電動ドローン (USV: Unmanned Surface Vehicle) の開発
株式会社スカイコード	各種ドローンに汎用的に対応するアタッチメントの開発

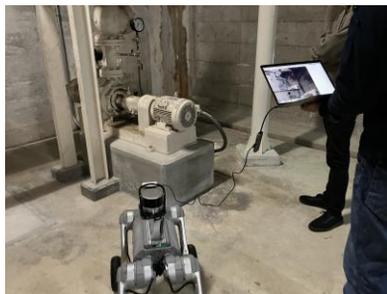
<令和7年度 ドローン実証実験支援事業 採択プロジェクト>

代表事業者名 (五十音順)	プロジェクト名
株式会社Oceanic Constellations	無人電動ドローン船 (USV: Unmanned Surface Vehicle) による海洋監視サービスの確立に向けた実証実験
株式会社スカイコード	ドローンによる高圧噴射の効果向上による高付加価値サービスの創出に向けた実証実験

case 01

アジア航測株式会社

プロジェクト名	下水道処理施設の日常点検を代替するロボット点検ソリューションの開発	
企業の所在地	神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21	
企業の事業概要	航空測量を基軸としながら、空間情報コンサルタントとして、土木、環境、復興、行政支援、エネルギー等に係る事業を行う	
実現しようとしているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理施設（プラント全般）
	想定顧客が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 【膨大な点検数と人員不足】下水処理施設（全国約2,200箇所）では、1施設当たり数百～数千の点検項目があり、日常点検に多くの人員が割かれている（標準的な処理施設では毎日約十数人が数時間かけて点検作業を実施）。 【点検品質のデータ化】下水処理施設で行われる多くの日常点検が人の目視や感覚に頼っており、点検記録も紙媒体で行われることが多い。そのため、点検品質が人によって異なったり、過去との定量的な比較が難しい項目もある。
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> 【走行ロボットが点検業務を代替】ロボット（車輪、四足歩行）にカメラやセンサを搭載し、点検対象箇所でのデータ取得を遠隔あるいは自動で行う。広大な下水処理施設内で作業員が巡回して行う作業をロボットが代替し、日常点検の効率化、自動化に役立つ。 【取得データの自動解析】ロボットが取得したデータを管理システムに送信し、データを蓄積する。AI等のシステムにより異常が疑われる箇所を自動抽出し、警告を通知することで業務負担軽減や点検精度向上を図る。
開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> メーター数値解析AIシステムの開発 <ul style="list-style-type: none"> 下水処理施設内にあるメーターの数値を自動認識するシステムの開発を行い、複数種類のアナログメーターの数値を認識するAIシステムを開発 水面解析AIシステムの開発 <ul style="list-style-type: none"> 最終沈殿池の水面に浮遊物が見られる際に「異常を検知」と判定するAIシステムを開発 点検用ロボット統合管理システムの開発 <ul style="list-style-type: none"> 点検用のマップ管理、点検中に得たデータのアップロード、データの閲覧の機能を開発 神奈川県内下水処理施設での実証実験 <ul style="list-style-type: none"> ロボットによる点検精度の確認、課題の洗い出しを目的とした実証実験を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ➡メーターの種類によって読取精度が異なるため、精度向上に向け継続的に開発を行う 	



ロボットによる
メーター認識の様子



AIによる
メーター分析の様子



統合管理システム画面

<問い合わせ先>

アジア航測株式会社（担当：中野）WEB：<https://www.ajiko.co.jp/> メール: robot-team@ajiko.co.jp

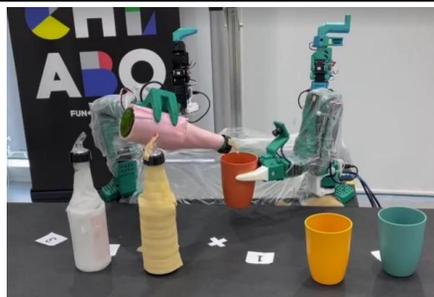
case 02

株式会社クフウシャ

プロジェクト名	フィジカルAIを活用した双腕アームロボット「OmniHost（オムニホスト）」の開発	
企業の所在地	神奈川県相模原市中央区淵野辺本町3丁目1番9号	
企業の事業概要	主な事業はロボットの試作開発/受託開発であり、2025年はAIを組み合わせたロボット開発に取り組む	
実現しようと しているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足が深刻な旅館・ホテルなどの宿泊業、およびレストラン等の飲食業等
	想定顧客が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 【慢性的な人材不足】宿泊・飲食業界では慢性的な人材不足が課題である。特に旅館業では少子高齢化により従業員不足や若手人材の獲得が難しく、人手不足がサービス提供のボトルネックとなっている。 【作業の効率化】既存の配膳ロボットは、食器の運搬といった単純作業の効率化には寄与しているが、人間のように複雑で繊細な作業には対応できないという課題がある。
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊・飲食業向けに、業務の作業代行/自動化を実現する「フィジカル AIを搭載した双腕アームロボット」を開発し、「配膳・下膳業務の自動化」「ドリンク作りの省人化」「バックヤードでの作業効率化」による生産性向上によって、現場スタッフの身体的・精神的負担を軽減する。
開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 車輪駆動部の開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 差動二輪駆動で狭小な通路で有利なその場旋回が可能な方式を採用 双腕型アームの開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 6軸のアームを対で設計/製作して双腕型とし、取り外し可能な模倣学習教示用アームも別途二本装着。各軸に求められるトルクや精度、反応速度、必要電力等と、許容重量・スペース・コスト等を最適化して部品選定とメカトロ設計を実施し、マイコン制御や各種IF基板、電源回路等を開発 フィジカルAIソフトウェア開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 視覚情報と自然言語による指示を入力として受け取り、それに応じたロボットの動作コマンドを出力する構成を開発（オープンソースのVLAモデルを採用） <p>将来的には、知覚、言語理解、行動予測を単一のシステムに統合することを目指す</p> <p>以上の開発により完成したロボットを用いて「FUN+TECH LABO」にて実証実験を実施 配膳および下げ膳、皿の仕分け、ドリンク作り機能の検証（自律移動を含む）した</p> 	



開発した双腕アームロボット「OmniHost（オムニホスト）」



ドリンク作り機能の検証の様子



下げ膳機能の検証の様子

<問い合わせ先>

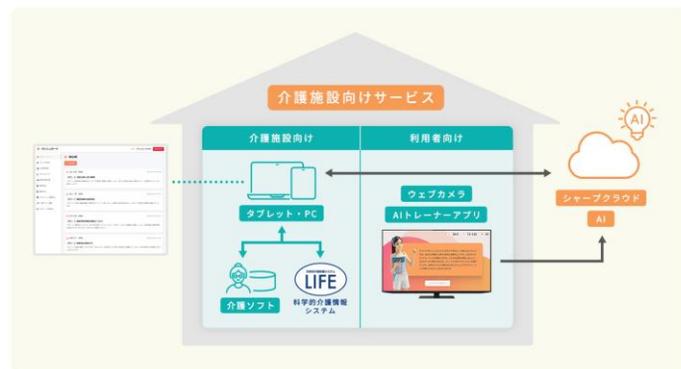
株式会社クフウシャ（担当：大西）

WEB：<https://www.kufusha.com/>

case 03

シャープ株式会社

プロジェクト名	AI介護機能訓練トレーナーの開発	
企業の所在地	大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号	
企業の事業概要	電気通信機器・電気機器及び電子応用機器全般並びに電子部品の製造・販売等	
実現しようとしているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設（通所介護、短期入所生活介護、介護老人施設、特定施設入居者介護）に勤務する介護職および機能訓練指導員
	想定顧客が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 【ノウハウ不足】機能訓練として歩行や姿勢の正確な評価が必要であるが、介護職に専門職のノウハウがない為に簡易的な測定が行われることが多い。 【業務負担が大きい】機能訓練計画作成や加算算定に伴う書類作成など、介護職の事務負担が大きい。また、リハビリ専門職が少なく、各高齢者に適した機能訓練を実施する時間を確保できず、画一的な訓練内容になりがち。
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> カメラで取得した動画・画像をもとに、歩行や姿勢などの身体機能を分析し、理学療法士の知見と生成AIを活用した専門的なアセスメントを簡便に実施する機能。 AIによって利用する各高齢者に適した機能訓練プログラムの提案や、機能訓練計画書の作成支援を行うことで、介護職の業務負担軽減を図る。
開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント支援機能の開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 介護現場で活用可能なカメラを用いた、姿勢・歩行分析等を行うフィジカルチェック機能 ◆ 対話機能を活用した、高齢者の生活機能ヒアリング機能 計画作成/実施訓練支援機能の開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 個別機能訓練加算の算定を目的として、利用者情報、生活機能・興味関心チェックシート、アセスメント結果を分析し、個別機能訓練計画の作成を支援する機能 ◆ 高齢者向けの実施訓練として、理学療法士監修のもと作成した、カラダを使ったゲームコンテンツ・介護職向け介護Webソフトの開発 介護職向けの介護Webソフトの開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 株式会社ビーシステム（神奈川県川崎市）のアドバイスのもと作成した、事業者ごとに管理者・スタッフ・利用者情報を一元管理できる介護事業者向けWebソフト <p>➡これらの機能をテレビ端末上のアプリと介護Webを連携させサービスとしてパッケージ化</p>	



左：機能訓練の実施イメージ、右：「介護向けAIトレーナー」構成イメージ

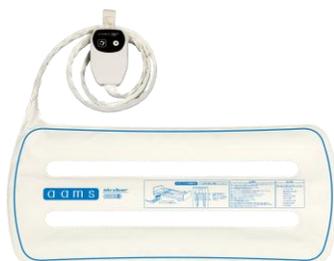
<問い合わせ先>

シャープ株式会社（担当：岳野）WEB：<https://corporate.jp.sharp/> メール：kaigo-ai-trainer@mail.sharp

case 04

株式会社バイオシルバー

プロジェクト名	心拍・呼吸・体動・睡眠状態といった生体情報から、疾病・重症化リスク・その他各種異変を予測するAIシステムの開発	
企業の所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-4 シルバービル1階	
企業の事業概要	センサーを使った製品の製造・販売・受託開発	
実現しようと しているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者見守り介護ロボット市場、医療機関・介護施設・在宅 (想定ユーザー：要介護1以上高齢者)
	想定顧客が 抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 【見守り・異変予測精度のばらつき】高齢者見守りの現場では、「異変の検知・お知らせ」から、「疾病・重症化リスク・その他各種異変」を予測することが重要であるが、介護者の習熟度によって予測精度にばらつきがある。
	サービスが 提供する 価値	<ul style="list-style-type: none"> 【異変予測の高品質化・均一化】センサーマットが取得する生体情報（心拍・呼吸・体動・睡眠状態）から、体調の異変、疾病の予兆を予測するAIを開発することで、介護者の習熟度に依存することなく、利用者の体調異変や疾病の予兆を事前に感知することができる。
開発・実証 プロジェクトで 取り組んだ内容、 県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 機能・仕様を集約、実現させるための仕様検討 <ul style="list-style-type: none"> ◆「転倒予防」と「体調変化検知」の2軸に体系化 データの取得・解析 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 転倒、発熱、入院などインシデントにつながるデータを抽出 ➡ 不要な情報を削除の上、データの標準化を行うことで解析結果の信頼性を向上 AI搭載サーバの構築 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 遠隔運用に耐える処理能力と低コストを両立した、スケーラブルなAI解析基盤を構築 ◆ 介護施設での実証実験を実施。入居者の動きからAIが判定した「危険・注意・配慮」の3段階表示が、実際の入居者の動作やリスク状態と一致しているかを確認 <p>AI活用による異変予測の高品質化・均一化を実現した結果、実際に異常検知アラートからインシデントを未然に防ぐことに繋がり、本サービスの有用性を確認。より多様な症例・環境下での検証データを蓄積し、解析アルゴリズムの確度をさらに高める (神奈川県内の特別養護老人ホームにて実証実験を実施)</p>	



生体情報を収集するデバイス「aams（アアムス）」



職員管理画面の表示イメージ（アラート発報の様子）

<問い合わせ先>

株式会社バイオシルバー（担当：今井） WEB：<https://www.biosilver.co.jp/> メール：info@biosilver.co.jp

case 05

株式会社Oceanic Constellations

プロジェクト名	船体および群制御システム等を搭載した電動ドローン（USV:Unmanned Surface Vehicle）の開発
企業の所在地	本社：神奈川県鎌倉市御成町8番28号
企業の事業概要	主な事業は水上ドローン（Unmanned Surface Vehicle=USV）の開発・製造

実現しようと しているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力、CCS事業者、国交省、海上保安庁、民間気象会社、関係省庁、自治体など
	想定顧客が 抱える課題	<p>【監視員の人員不足】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動や国際関係の緊張度の高まりの中で、海洋の監視・調査のニーズは高まっており、現状以上のデータ取得が求められている一方、労働人口の減少、技術承継の困難から、課題への対応は進んでおらず、常時監視・調査ができる船体（ドローン）の開発が求められている。
	サービスが 提供する 価値	<ul style="list-style-type: none"> 水上無人機を長期間/常時滞留させることを目的としたリアルタイム映像の伝送機能、衝突回避機能を搭載する電動ドローン船（USV）の開発し海洋資源、防災、保安・安全保障に係るサービスを提供。

開発・実証 プロジェクトで 取り組んだ内容、 県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 長期間/常時滞留可能な電動ドローン船_次世代試作機（β機）の開発 <ul style="list-style-type: none"> 特殊な船体形状を採用し、エネルギーマネジメント・耐環境性能（転覆復原性）を両立する設計 独自の船体制御および群制御システムを搭載。リアルタイム映像の伝送機能、衝突回避機能を搭載すると同時に、危機回避用に操縦者がマニュアル操作で回避できる機能を有する。巡航速度は1-3ノット（約1.9km~5.6km/時）前後 常時多点センシング実装に向けたソフトウェアの開発（HILS構築） <ul style="list-style-type: none"> HILS:Hardware In the Loop Simulatorは、周囲の環境を模擬したシミュレーションの一部に制御ボックス（ハードウェア）を組み込み、制御ボックスの検証を行う装置・手法。独自開発の海洋デジタルツインの生成したデータを使って、実際の船（船体運動・バッテリー・太陽電池、光学・IRカメラ、LiDAR、舵、スラスター）を模擬した信号を装置から生成し、制御ボックスに送ることで、疑似的に複数船舶での監視体制環境（海の衛星群）を構築 今般、カメラのHILS SW開発（USVで活用するカメラの信号を模擬するように動くSWの開発）を完了
--	--



組立・電装前のUSV船体



次世代試作機（β機）



海の衛星群のイメージ図

<問い合わせ先>

株式会社Oceanic Constellations（担当：松尾）

WEB：<https://www.oceanic-constellations.com/>

case 06

株式会社スカイコード

プロジェクト名	各種ドローンに汎用的に対応するアタッチメントの開発	
企業の所在地	本社：神奈川県鎌倉市坂ノ下3-7	
企業の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ケルヒャードローンを用いた洗浄・遮熱剤塗布・除草・融雪・空撮などのサービス提供事業 ・ドローン洗浄ノウハウを提供するスクリーニング事業 ・ケルヒャー機器・クーラーカートなどの販売、および、ドローンとの接続アタッチメント自社開発販売事業 	
実現しようと しているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフ場・スキー場、農家・農場（牛舎）、寺院、太陽光パネル・建築物 運送会社、映像・TV制作会社 等
	想定顧客が 抱える課題	【高所作業の業務負担】洗浄、塗装、雑草駆除、除雪、撮影などの高所での作業において、高所の足場を組むなどのコスト面と、安全性に関して課題がある。
	サービスが 提供する 価値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧洗浄機の噴射圧力に耐え、ドローンの飛行に影響の出ないアタッチメントを開発することで、効率的かつ安全なドローン洗浄サービスを提供する。
開発・実証 プロジェクトで 取り組んだ内容、 県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高温・高圧洗浄ドローン（ケルヒャードローン）の開発 <ul style="list-style-type: none"> ◆ ドローンと高圧洗浄水噴射ノズルが一体化した機体 ◆ ケルヒャー業務用高圧洗浄機を用いた、ハイパワー高圧噴射 ◆ ケルヒャー業務用高圧洗浄機を用いた、温水噴射 ◆ 多くの洗浄シーンに対応できる、ドローンの小型化の実現 ◆ 用途に併せたノズル角度の研究開発 ◆ 高圧洗浄ノウハウを活かした、洗剤や塗料のドローン塗付機能 <p>➡開発したアタッチメントの性能、適正が確認できた また、ドローンを活用することで清掃コストの低減のみならず 高所の清掃における作業の効率化、作業員の安全性確保につながることも確認ができた</p>	

機器名	ケルヒャー社 HDS 1000 De WEED
イメージ	
用途	洗浄
スペック	900Lx20Mpa
特徴	熱湯生成可能

アタッチメントを装着する対象機器



工場室外機の実証実験の様子

<問い合わせ先>

株式会社スカイコード 田中 治希

WEB : <https://sky-code.co.jp/>

case 07

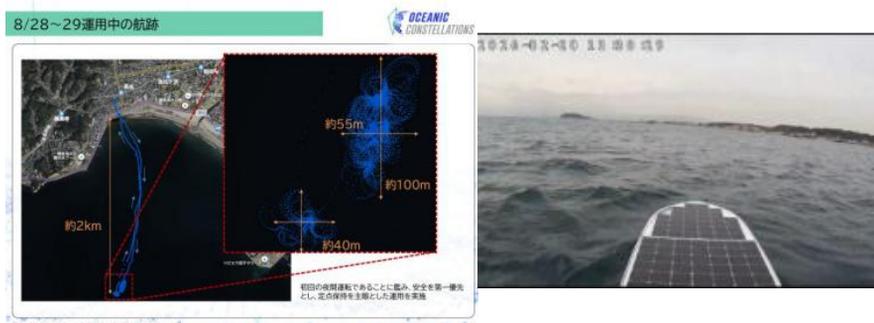
株式会社Oceanic Constellations

プロジェクト名	無人電動ドローン船（USV: Unmanned Surface Vehicle）による海洋監視サービスの確立に向けた実証実験	
企業の所在地	本社：神奈川県鎌倉市御成町8番28号	
企業の事業概要	主な事業は水上ドローン（Unmanned Surface Vehicle=USV）の開発・製造	
実現しようとしているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力、CCS事業者、国交省、海上保安庁、民間気象会社、関係省庁、自治体など
	想定顧客が抱える課題	<p>【常時監視の体制・環境構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、海洋を監視・調査するプラットフォームは限定的であり、有人船での監視・調査が中心。現在のニーズを鑑みると早急な「ドローン船（無人）による常時監視体制・環境構築」が求められる。
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> 水上無人機を長期間/常時滞留させることで、海洋の常時多点センシングサービスを提供し、海洋資源、防災、保安・安全保障に係るサービスを提供。 密漁の継続包括的な監視・抑止を行う。また、従来定量的に把握できていなかった密漁の実態の可視化も実行する。

開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 長期間/常時滞留の実証実験（昼夜連続運転） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 午後5時から翌朝5時までの昼夜連続運転に成功。国内小型USVでは日本初の成果 ◆ 国交省、海上保安庁本庁・横須賀・湘南全てと連携。指導に従った船体仕様、灯火・旗等の搭載を実現 ◆ 光学カメラ/IRカメラを搭載。夜間でも水上・空中の鳥を検知。夜間の密漁発見が可能であることを確認。また、これらの密漁監視活動が密漁行為の抑止力としても機能するとの関係者からの評価を得た 継続包括的な監視体制の構築（管制室の立ち上げ、マリーナでの運用） <ul style="list-style-type: none"> ◆ 管制室を立ち上げ、水上無人機による監視状況や船体制御の管理が可能な体制を構築（今後の機数増加にも対応可能） ◆ 鎌倉市、漁業組合、地元企業と協定を結んだ鎌倉わつつみプロジェクトの一環として、近隣マリーナと連携した鎌倉沖での実証内容、協業先の拡大を実現（民間マリーナからの国産USVの展開、非対称船型のUSVの実海域運用は本邦初の成果）
------------------------------	---



管制室



実証実験（2025/8/28-29）の様子

<問い合わせ先>

株式会社Oceanic Constellations（担当：松尾）
 WEB： <https://www.oceanic-constellations.com/>

case 08

株式会社スカイコード

プロジェクト名	ドローンによる高圧噴射の効果向上による高付加価値サービスの創出に向けた実証実験	
企業の所在地	本社：神奈川県鎌倉市坂ノ下3-7	
企業の事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ケルヒードローンを用いた洗浄・遮熱剤塗布・除草・融雪・空撮などのサービス提供事業 ・ドローン洗浄ノウハウを提供するスクーリング事業 ・ケルヒャー機器・クーラーカートなどの販売、および、ドローンとの接続アタッチメント自社開発販売事業 	
実現しようとしているサービス	想定顧客	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフ場・スキー場、農家・農場（牛舎）、寺院、太陽光パネル・建築物運送会社、映像・TV制作会社 等
	想定顧客が抱える課題	<p>【ドローン活用範囲が限定的】ドローンによる業務効率化については、建物を洗浄するだけでなく、屋根への断熱材塗布の効果をも高める事前洗浄等、様々な付加価値が期待されている一方、実際にビジネスとして利用されているシーンはごく一部に限られている。</p>
	サービスが提供する価値	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な現場で活用できる高圧洗浄ドローンの仕様・運用方法を確立することで、様々な場面でのドローン活用用途の拡大を目指す。
開発・実証プロジェクトで取り組んだ内容、県内企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフ場、商業施設、工場、ホテルといった様々な環境条件下で実証実験を5回実施 下記の点を検証した <ドローン洗浄による清掃能力の検証、課題の洗い出し> <ul style="list-style-type: none"> ◆ アタッチメントを装着した状態でのフライトテスト <ul style="list-style-type: none"> ➔事前現地調査を実施することで対応可能 ◆ ガラス、壁面に対する洗浄力テスト…水滴跡が残る、ノズル種類で汚れ落ちに差が出る <ul style="list-style-type: none"> ➔水滴が残らない特殊液剤の開発、特殊ノズルの開発を実施 ◆ 大型室外機の洗浄テスト…室外機専用ノズルでの洗浄となり、時間を有する <ul style="list-style-type: none"> ➔現時点での大型室外機清掃のサービス化は困難であると判断 ◆ フライト耐久テスト…高度10m以上のフライトでプロペラモーターに負荷が発生する <ul style="list-style-type: none"> ➔大型ドローンを導入した清掃モデルを作成 <p>様々な種類の施設との実証を通じ、清掃業務以外にも屋根への断熱材塗布や、雪下ろしのニーズがあることが分かり、小型ドローンのフライトによる横向き/下方向きノズルを用いた運用（検証内容）がドローン利活用に有効であることが判明した</p> 	



ホテルの壁面洗浄の様子



寺院の屋根洗浄の様子

<問い合わせ先>

株式会社スカイコード 田中 治希

WEB : <https://sky-code.co.jp/>

神奈川県ロボット/ドローン開発・実装促進事業

令和7年度ロボット実装促進センター受託事業者：TIS株式会社

TEL：050-8892-3575（10時～17時 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く））

WEB：https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0604/jisso_center/

